

インドネシア活動報告③

株式会社マジオネット
JICA 青年海外協力隊 2016 年度 2 次隊
山口 麗子

【今月(4/13~5/13)の活動】

- ・学校巡回(2校)
- ・BIMBINGAN TEKNIS PERSAMPAHAN
- ・インドネシア隊員機関誌作成委員会での取材、編集

◎学校巡回

この1か月は学校のテスト期間ということで、2校しか訪問することが出来なかった。最近では学校巡回に関わっている職員の意欲が減りつつあり、急な変更やキャンセルが相次ぎ、活動が難しくなっている。来月からは、断食(ラマダン)が始まり、ムスリムの方は日中に食事を摂らない期間が1か月続くので、今以上に働く意欲が低下することが考えられる。その前までに、今後の計画書を完成させ、意欲が増すよう提案を試みる予定である。



スングギ第2小学校。向かいにはリゾートホテルがある観光地の中の学校。

◎BIMBINGAN TEKNIS PERSAMPAHAN

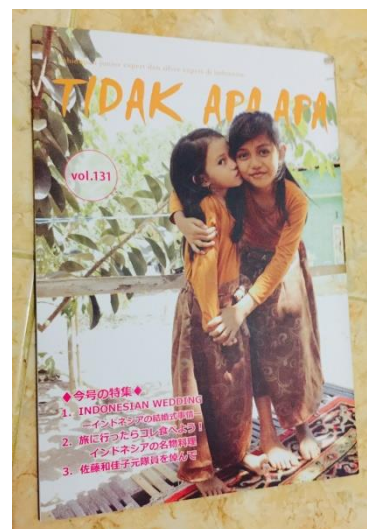
当日、急にセミナーの存在を知らされ参加した。セミナーの内容はごみリサイクルのリーダー養成講習であった。これまでに知り合ってきたごみ銀行のスタッフが多く参加しており、講師も熱意に溢れ、活発な意見交換もされていた。講習に参加したことで、環境局やごみ銀行の人々の考え方が分かった。また、講師となっていた方は日本に2週間研修に行き、帰国したばかりだったこともあり、日本の環境意識の高さや、インドネシアとの違いも交えて話してくれていた。



講習会時集合写真

◎ インドネシア隊員機関誌作成委員会での取材、編集

私は JICA インドネシアの協力隊機関誌を作成する委員会に所属している。各地で活動する隊員の様子を取材したり、インドネシアの文化や食について調査し、年 2 回、雑誌の形式で発行している。現在は JICA 関係機関のみの配布となっており、残念ながら一般に公開されることはないが、本格的な雑誌で委員会を通して取材や編集のスキルを磨くことができている。4 月下旬には、委員会メンバーでスラウェシ島トラジャヘコーヒー農園の取材も行った。次号は 6 月初旬が発行予定日となっており、総会(首都ジャカルタで年 2 回行われる)に合わせ、5 月下旬にジャカルタにて入稿作業を行う予定である。



前回発行された隊員機関誌

【日常生活について】

◎一日の流れ

05:30	起床
05:40-06:00	入浴
06:00-07:20	準備、朝食
07:20-07:30	通勤(自転車)
07:30-16:30	勤務
16:30-17:00	同僚と会話
17:00-	帰宅



食事は、朝夕ホームステイ先のホストマザーがつくる料理を頂いている。インドネシア料理自体は脂っこく辛いものが多いが、ホストマザーが健康志向

の為、料理は魚が中心で野菜も食べることができ、非常に美味しい。1日中何度もお菓子を頂くので、順調に体重は

増加している。また、インドネシアでは、毎日朝・夕の2回入浴するのが普通で、お湯はホテルや富裕層の家でない限り出ない。シャワーがついていればいい方で、水槽の中に水を貯めて手桶で身体をすすぐだけの家も多い。

【交通面について】

私の赴任地である西ロンボク県ゲルンは、小さな店とコンビニがcaろうじてあるほどの田舎であるが、主要幹線道路はとても広く、比較的綺麗に舗装されている。また、信号はないが、中心地に大きな環状交差点があり、渋滞することなくいつもスムーズに流れている。(動画添付)住民の交通手段は基本的にバイクで、ノーヘル、4 人乗り、子どもの運転など日本ではありえない光景をよく目にする。その為、事故も当然よく発生している。以前、なぜ危険な運転をするのか未然に防ごうと思わないのかと聞いたことがあるが、「(事故や怪我、死期などは)神によって全て決められているという考えがあるので、気にしない」と言われた。イスラム教の信仰者が 9 割を占める島なので考えを改めさせるのは難しそうである。